



たかた☆ゆめキッチン

代表
齋藤 まゆみ さん

たかた☆ゆめキッチンは、平成29年に親子が気軽に集える居場所としてスタートしました。当初は外部からの支援者や移住者のボランティアが中心でしたが、現在は地元メンバーが中心となって運営を支えています。

利用者の顔ぶれは新年度ごとに変化しており、最近では転勤で新しく地域にきた親子も増えています。子どもたちは、未就学児から高校生まで幅広い年齢層が利用しており、赤ちゃんの頃から通い続けて成長を見せてくれる子や、成長してボランティアとして戻ってきてくれる子もいます。

また、孤立していた子が友達の輪に入ったり、「ここは僕の居場所だ」と言ってくれたりするなど、子どもたちの心の拠り所となっています。

食事は、地域の皆さんから提供される野菜やお米、季節の食材を活用して提供しています。人気のカレーは、子供も大人もおかわりするほど好評で、完食してもらうことが大きなやりがいです。

また、食事の提供だけではなく、ドローン体験やものづくり、スポーツといった日常では味わえない「体験」の機会を提供することにも力を入れています。

たかた☆ゆめキッチンでは、単なる「貧困対策」というマイナスイメージではなく、移住者も地元の人も世代を超えて仲良くなれる「子どもと親子や大人の居場所」であることを目指しています。

今後は、夏休み期間中の中学生向けの居場所づくりなど、地域のニーズに応じた活動を展開していきます。

会場ではメニューに入っている食材を細かく書いています



調理するスタッフやボランティアの皆さん



利用者の声



伊藤 謙吾さん(左) 嶋 来さん(右)

毎月のように利用させていただいています。来るたびに副菜のメニューが違うので、いろいろな栄養が取れてとても助かっています。子どもも友達と一緒に食べられるのが嬉しいようで、いつも楽しみにしています。



佐々木 蒼良さん(左) 村上 葵輔さん(右)

たかた☆ゆめキッチンには、いつも二人で来ています。いつもおいしいカレーを食べるのが楽しみです。食べ終わった後も、いろいろな遊びができてとても楽しいです。

たかた☆ゆめキッチン

こども食堂



こども食堂



ポッチャやドローンを使った風船割り、テーブルゲームなどで楽しむ子どもたち

